

令和4年度 品川区総合戦略推進委員会
議事概要

日時：令和5年2月7日（火）16:00～17:00

場所：品川区役所 本庁舎5階 第五委員会室

<議事次第>

1. 開会
2. 委員紹介
3. 委員長挨拶

■委員長

- ・本委員会は、この2年間新型コロナウイルス感染症の影響により、書面での開催を余儀なくされた。
- ・昨年度は当初、対面開催を予定していたが、開催時期に感染者が急増したため、やむを得ず書面開催に変更させていただいた。
- ・この委員会の主要な目的は、資料の精査、改善点の抽出・指摘であり、その点に関しては書面開催でも可能だが、対面で細かく意見を交わし、その場で意思疎通ができる環境も重要なため、久々の対面開催が実現できたことを嬉しく思う。
- ・先般の区長選挙により新しい区長が就任された。その結果として総合戦略を取り巻く状況が変化することもあり得ると思う。こうした中でこそ、客観的かつ今後の区政に活用できるような評価の実施が重要であると認識している。
- ・本日は忌憚なくご意見をいただき、有意義な議論ができるよう努めていくのでよろしく願います。

4. 委員会運営について

- *事務局より、資料3（品川区総合戦略推進委員会公開基準）について説明。

■委員長

- ・本委員会の公開基準および傍聴に関する取扱要領について説明があった。この基準により会議を運営することに異議はないか。

■委員

- ・異議なし

5. 品川区総合戦略について

- *事務局より、資料4（品川区総合戦略について）について説明。

6. 品川区総合戦略の取組状況について

- *事務局より、資料5（品川区総合戦略の取組状況について）について説明。

■委員長

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により対面型の事業のK P Iが取れない状況があったかと思う。
- ・一方で、以前から持ち越している課題、コロナとは関係のないところでの課題が見受けられる。
- ・それでは、令和3年度の取り組みについて評価を行っていく。今の説明内容、配付資料について、質問、意見等があればご発言いただきたい。

■委員

- ・新しい総合戦略を策定する際、K P Iの設定についていくつか意見をさせていただいた。今回もK P Iの観点から気付いた点を申し上げる。
- ・「すくすく赤ちゃん訪問事業の推進」のK P I（家庭訪問率）は、母集団が決まっており、それに対する達成率ということで、分かりやすく良い指標である。
- ・「空き家対策の推進」のK P I（管理不全空き家解消件数）は、累計569件ということだが、管理不全の空き家が品川区で何件あるのかが分かると改善状況が見える。
- ・基本目標1「安心して子どもを生み、楽しく子育てができるまちをつくる」の数値目標である「品川区に定住を希望する理由として、「子どもを育てやすい」と回答する区民の割合」の平成30年度の数値が急落しているが、数値の取り方に誤りがあるのではないか。
- ・「ICTを活用した教育活動の推進」のK P I（ICT機器配備台数）について、機器（ハード）の配備ではなく、ソフトの活用状況で指標を設定できると良い。
- ・「在宅介護支援システムの強化」のK P I（在宅介護支援センターへの相談件数）について、区の取り組みとK P Iの関係性が分からない（相談件数の増加・減少、どちらを「良」と評価すべきか）。違った形で表現できないのか。
- ・「認知症高齢者・家族への支援の充実」のK P I（認知症サポーター養成講座受講者数）について、対象の母集団を把握できるならば、「受講者数」ではなく「受講率」の方が望ましい。

■事務局

- ・新しい総合戦略推の策定にあたってはご意見を賜り感謝する。今回は総合実施計画との整合を図りつつ策定しており、K P Iの設定に際しては「アウトカム指標が基本と

なる」という委員のご指摘を踏まえて検討を行った。本日いただくご意見についても、計画改定の際に適切に反映させていきたい。

- ・基本目標1「安心して子どもを生み、楽しく子育てができるまちをつくる」の数値目標である「品川区に定住を希望する理由として、「子どもを育てやすい」と回答する区民の割合」の数値については、2年に1回実施する「品川区世論調査」の中で、クロス集計により抽出している。ここで対象となるのは「長子が小学生または中学生である区民の方」であり、調査対象1,500人のうちの100人程度であることから、調査の年により結果に若干のバラつきが生じるのが課題である。

■事務局

- ・「ICTを活用した教育活動の推進」については、ご指摘のとおり機器を配備して終わりではなく、その後の活用が重要だと認識している。指標については研究していく。
- ・「在宅介護支援システムの強化」のKPI（在宅介護支援センターへの相談件数）については、どのようなデータが取れるか所管に確認し、例えば相談内容に応じた指標の設定ができるかなど、検討を行いたい。

■委員

- ・「空き家対策の推進」のKPI（空き家有効活用件数）については、計画期間中に実績を1件もあげることができなかった。難しいことは承知しているが、他の自治体の成功事例等を参考に進めることはできないのか。

■事務局

- ・空き家活用については、色々と取り組みを行っているが、個人の財産に係る部分であり、相続の問題等でなかなか進んでいない部分はある。空き家の有効活用に係る提案を民間事業者から受ける業務等も開始しており、引き続き注力していく。

■委員長

- ・「空き家対策の推進」も含めて実績が出にくい事業がある。
- ・「新市場開拓に向けた販路拡大支援」のKPI（区内企業間の新規取引件数）も数字がなかなか伸びてこない。

■委員

- ・コロナ禍で実施が難しい事業もある中で、評価がAまたはBになった事業の割合が多かったことは評価できる。
- ・一方で、高齢化が進む中、人数の推移ではなく、母集団に対する割合で評価すべき施

策もある。

■委員長

- ・「品川区就業センターの運営」のK P I（品川区就業センターへの相談者の就職件数）について、ハローワークの検索システムが導入されたことで就業センターへの来場者が減ったということだが、検索システムの利用者数を把握しているのか。こうしたデータがあれば就業センターの相談の有効性等が見えてくるかもしれない。

■事務局

- ・検索システムの登録者数は把握できるので、システム登録者数と就業センター来場者数の関連性について確認する。

■委員長

- ・「子どもを見守る地域ネットワークの拡充」のK P I（地域ネットワークの協力者数）は新型コロナウイルス感染症の影響を受けにくい指標かと思う。協力者はどういった方々か。

■事務局

- ・「子どもを見守る地域ネットワークの拡充」のK P I（地域ネットワークの協力者数）は、実際に協力いただける実人数を精査した経緯がありD評価となっている。児童見守りシステム（まもるっち）を軸とした見守りとして、協力者の増加に向けた働きかけは引き続き行っている。協力者は通学路沿いのご家庭の方、商売をされているお店の方などに協力いただいている。

■委員長

- ・例えば商店街が衰退して事業者が減った場合、協力者も減るのか。
- ・一定の年齢層の人たちのうち何パーセントが協力しているなど、比率が取れると良い。将来、人口が減少した際、数を保つのは難しいから比率を保とうという考え方もある。

■事務局

- ・通学路沿いの商店が減るとすれば協力者数にも影響が出ることが見込まれる。指標の設定については検討する。

■委員長

- ・「在宅介護支援システムの強化」のK P I（在宅介護支援センターへの相談件数）は、

コロナ禍では逆に件数が増えるのではないか。

- ・こちらも比率による指標の設定ができると望ましい。

■事務局

- ・「在宅介護支援システムの強化」のK P I（在宅介護支援センターへの相談件数）は、システム改修により件数のカウント方法が変更された経緯があり、D評価となっている。
- ・高齢者の相談件数ということで、ご指摘のとおりコロナ禍で件数が増加する可能性もあったと思う。指標の設定については検討する。

■委員

- ・「子どもを見守る地域ネットワークの拡充」のK P I（地域ネットワークの協力者数）については、児童見守りシステム（まもるっち）に係る経費が主だと思うが、N P O等との連携などソフト面を充実させて、地域ネットワークの強化を図れたら良い。

■委員

- ・「シティプロモーションの推進」のK P I（メディア認知度（区外））について。現在はTwitterなどのSNS発信を進めたり、新しい区長が就任されて区長記者会見を工夫されたりと、積極的に情報をオープンにしている印象を受ける。

■事務局

- ・当該K P Iは区外から見た品川区の認知度として当初設定していたが、認知された理由まで踏み込めないことに課題があった。シティプロモーションについては引き続き推進する必要がある。

■委員長

- ・区に対する認知度ではなく、区の政策に対する認知度を計測した方が有効かもしれない。
- ・総合戦略は人口減少社会の克服や地方創生を目的として策定したものであり、当初は人口減少への対応が一丁目一番地だったが、現在の社会状況などを踏まえると、地域の見守りや安全などの確保が人口減少対策としての意味を持つこともあり得る。

■委員

- ・これまで蓄積してきたデータを活用すれば、統計的に何が人口増加に効果的か分かるかもしれない。

- ・組織や政策に横串を刺すことが重要だという意見はこれまでもあったが、新しい総合実施計画では対応できたか。

■事務局

- ・長期基本計画では組織間・政策間の横串を整理して4つの視点・3つの政策分野にまとめており、長期基本計画の具体的な事務事業を示す総合実施計画においても、その点を踏まえて策定している。

■委員長

- ・意見交換はこの辺で終了する。
- ・委員会における各委員の指摘事項については、所管課に共有いただき、取組内容の見直しや改善に活かしていただきたい。また、K P I の設定については、さらに研究・検討をいただければありがたい。

6. 今後のスケジュール等について

■事務局

- ・本日の会議資料については、ホームページに掲載する。
- ・議事概要案を作成の上、後日、各委員の皆様にご確認いただいた上で、ホームページに掲載する。

7. 閉会

■委員長

- ・以上をもって本日の委員会を終了する。

—以 上—